

1 牧之原市が目指す「望ましい環境像」

うみ・そら・みどりと共生するまち まきのほら

緑豊かな牧之原大茶園や雄大な海岸線など、牧之原市民が思いうかべる“ふるさとの風、光、音色、香り”を守り、復元していくことで、潤いと安らぎに満ちた環境を創出、次世代へと継承できる、愛着と誇りの持てるふるさとづくりを進めていく気持ちが込められています。

2 牧之原市が目指す「望ましい環境像」の実現に向けた取組

基本目標 1 自然環境

詳細は
本編 p.12

里山・里地・里海と人をつなぐまち

自然環境や生物多様性の保全、人と自然とのふれあいの促進、景観・歴史文化などにも配慮した総合的な住み心地の良さの向上など、本市の財産である豊かな自然や風土を生かした、人と自然が共生するまちを目指します。

- 個別目標 ① 里地・里山・里海を守る
② 生きものを守り自然とふれあう
③ 景観・歴史文化を大切に

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R8
地域での清掃ボランティア活動の実施回数(回/年)	33	44	36	40
自然体験学習の実施(回/年)	69	75	74	80
自然環境の保全への取組に対する市民満足度(%)	36.8	35.6	39.5	43

- 市民・事業者・滞在者の取組
- ・ 海岸美化活動に参加する
 - ・ 生きものや自然とふれあう
 - ・ 地域の資源を守る



基本目標 2 資源循環

詳細は
本編 p.18

資源を大切にすることを育むまち

環境負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、資源を有効活用し、豊かな環境の恵みを受用できる「質」を重視した循環型社会を目指します。

- 個別目標 ④ 4R でごみを減らす
⑤ ごみを適正に処理する
⑥ 不法投棄をなくす
⑦ 水を大切に

4R 拒否 減量 再利用 再資源化
(Refuse) (Reduce) (Reuse) (Recycle)

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R8
市民 1 人 1 日当たりのごみ発生量 (g/人・日)	843	897	791	780
ごみのリサイクル率 (%)	27.8	27.9	31.3	34
ごみの収集・減量化や資源回収などの取組に対する市民満足度(%)	53.9	54.6	56.5	60

- 市民・事業者・滞在者の取組
- ・ ごみ分別マナーを守る
 - ・ 食品ロスを減らす
 - ・ 節水する



基本目標 3 生活環境

詳細は
本編 p.26

クリーン＆グリーンを広めるまち

花と緑豊かな環境、美しい夜空・音色などの創出や、日常生活や事業活動から発生する大気や水の汚染、騒音・振動や悪臭などの問題をできる限り低減し、安全で安心して暮らせる快適で健康なまちを目指します。

- 個別目標 ⑧ まちを花と緑で彩る
⑨ 空気の爽やかなまちにする
⑩ 美しい音色のまちにする
⑪ きれいな水と土を未来に残す
⑫ 安全・安心・清潔に暮らす

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R8
グリーンバンクによる花の種・球根配布団体数(団体)	184	175	189	195
生活雑排水処理率(%)	40.3	50.6	45.9	55
公害防止対策への取組に対する市民満足度(%)	46.3	46.8	48.6	52

- 市民・事業者・滞在者の取組
- ・ 生垣や花壇の緑を増やす
 - ・ 浄化槽の維持管理をする
 - ・ 水を汚さない



基本目標 4 地球環境

詳細は
本編 p.35

地球のために行動するまち

地球温暖化防止を進めるため、地域社会を構成する各主体が身近なことで今できることを自ら推進し、全ての人が地球温暖化防止の活動に取り組むまちづくりを進めます。

- 個別目標 ⑬ 温暖化対策を総合的に進める
⑭ 再生可能エネルギーを使う
⑮ エネルギーを大切に使う

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R8
家庭版環境マネジメント参加世帯数(世帯/年)	31	78	105	150
環境マネジメントシステム取得事業者総数(事業所)	51	57	59	70
再生可能エネルギーによる発電設備導入容量(MW)	75	119	82	90

- 市民・事業者・滞在者の取組
- ・ 省エネルギー製品に買い換える
 - ・ 再生可能エネルギーを導入する
 - ・ 省エネルギーを実践する



基本目標 5 環境教育

詳細は
本編 p.41

環境への想いをつなぎ育てるまち

環境に関する教育や情報の提供、実践活動を推進することで、みんなが環境のことを考え、自ら率先して行動・協働する持続可能な社会の実現を目指します。

- 個別目標 ⑯ 環境について学ぶ
⑰ 情報の発信や交流を活発にする

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R8
環境教室の開催数(回/年)	21	18	29	40
環境リーダーの数(人)	8	8	9	20
環境キャンペーンへの参加者数(人)	584	中止	680	800

- 市民・事業者・滞在者の取組
- ・ 環境に関心を持つ
 - ・ 観察会や講演会などに参加する
 - ・ 環境情報を活用する



3 市役所の取組

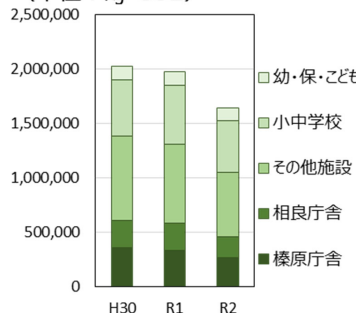
牧之原市では、市役所での事務・事業の省エネ・省資源、廃棄物の減量化などに関わる取組を推進し、温室効果ガス排出量を削減(抑制)することを目的に、「牧之原市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）第3期計画」を策定し、取組を推進しています。計画の推進に当たっては、エコアクション21のプログラムを活用しています。

◎ 二酸化炭素排出量

項目	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R3
二酸化炭素の排出量(t-CO ₂ /年)	2,161	1,640	1,966	1,930

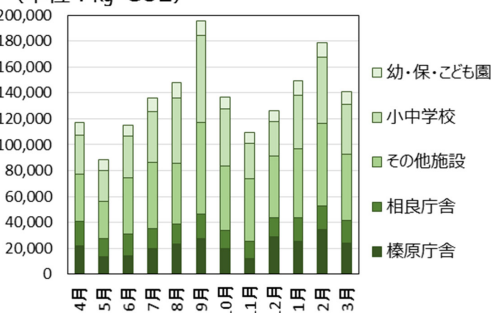
年度別 二酸化炭素排出量の推移

(単位: kg-CO₂)



令和2年度月別 二酸化炭素排出量の推移

(単位: kg-CO₂)



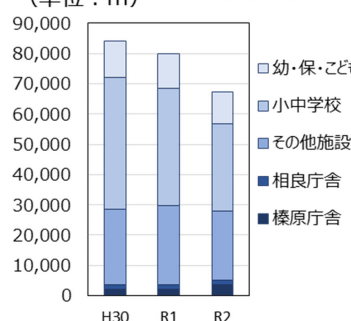
令和2年度の二酸化炭素排出量は、27年度比で24.1%の削減となりました。対象施設において最も二酸化炭素排出するエネルギー源は購入電力です。昨年度の購入電力量を比較すると小中学校は増加しましたがそれ以外は横ばいに推移しました。小中学校が増加したのは順次エアコンの設置・稼働したことが主な要因です。しかし、令和2年7月より高圧電力契約施設24施設の購入電力を令和元年度購入電力量の30%分の電力を発電時に二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー電力(CO₂フリー電力)に切り替えたことで、二酸化炭素排出量が27年度比で24.1%の削減することができました。引き続き、不要なエネルギー使用をしないよう努め二酸化炭素排出量の削減を進めていきます。

◎ 総排水量

項目	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R3
総排水量 (m ³ /年)	96,858	67,157	88,786	87,172

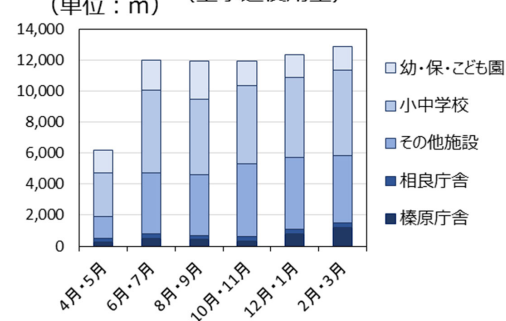
年度別 排水量の推移

(単位: m³) (上水道使用量)



令和2年度 月別 排水量の推移

(単位: m³) (上水道使用量)



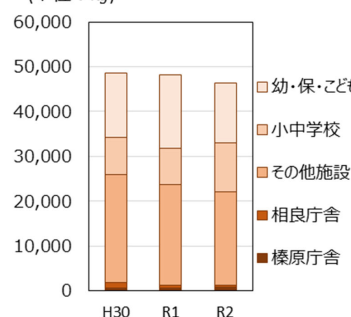
令和2年度の総排水量は、平成27年度の実績と比較し30.7%の減少でした。この主な要因は、年度当初小中学校の休校等の期間があったためです。引き続き、節水や漏水のチェックなどを実施し、水の使用量、排水量の削減に努めます。

◎ 廃棄物排出量

項目	基準	現状	目標	
	H27	R2	R2	R3
廃棄物排出量(kg/年)	50,585	46,300	46,369	45,526

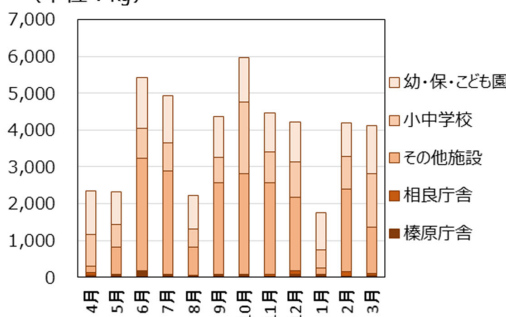
年度別 廃棄物排出量の推移

(単位: kg)



令和2年度 月別 廃棄物排出量の推移

(単位: kg)



令和2年度の廃棄物の排出量は、46,300kgで、令和元年度と比較すると約1,800kg減少しました。特に給食センターの可燃ごみ及び幼稚園・保育園・こども園全体での厨芥ごみの排出量の減少が全体の排出量の減少に貢献しました。

令和3年概要版 牧之原市の環境 エコアクション21・地球温暖化防止実行計画 環境活動レポート

牧之原市 市民生活部 環境課

〒421-0592 牧之原市相良275番地

[TEL]0548-53-2609 [FAX]0548-53-2889

[E-mail]shimin@city.makinohara.shizuoka.jp



エコアクション21

認証番号 0001722